

マーケットの動き（2022年5月16日～5月20日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

週の前半は、中国における都市封鎖の緩和期待や4月の米国小売売上高の堅調な内容を好感し、底堅く推移しました。その後は、米国小売大手がコスト増加要因で利益見通しを引き下げるケースが続き、米国の景気後退に対する懸念の高まりから米国株式が下落したことを受け、国内株式も下落に転じました。週末には急落した反動に加え、中国が住宅ローンの基準金利引き下げを発表したことを好感し、週を通しては小幅上昇で週を終えました。

投資環境見通し（2022年5月）

決算発表一巡後は底堅く推移

円安ドル高の進行や経済活動の再開などが企業業績にプラスとみられる一方、ロシアによるウクライナ侵攻、インフレ動向、中国におけるロックダウンなどの不透明材料も多く、1～3月期決算は増収増益となるも、企業による今後の業績見通しについては慎重な内容になるとみています。5月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）を通過し、決算発表が一巡した後は、米国金融政策や企業業績を巡る先行き不透明感が一旦後退するとみられます。国内株式相場は、投資家による割安感が強まった銘柄を物色する動きや、企業による自社株買いに支えられ、株価は底堅く推移するとみています。

	5月20日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,877.37	0.71%	▲1.97%	▲8.18%	▲0.98%
日経平均株価	26,739.03	1.18%	▲1.76%	▲10.11%	▲4.84%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202205_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

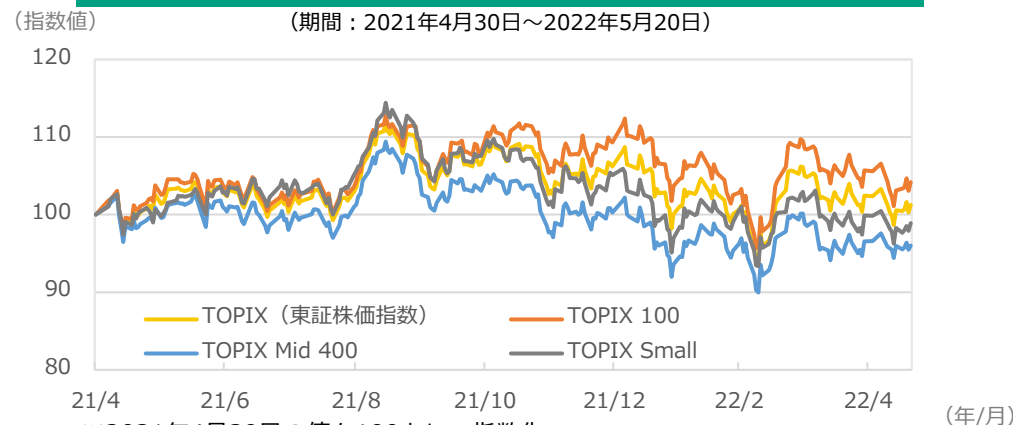
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2021年4月30日～2022年5月20日）



TOPIX規模別指数の推移

（期間：2021年4月30日～2022年5月20日）



※2021年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成